

平成26年8月21日～22日の大雨による鳴淵ダム防災操作の効果について《速報値》

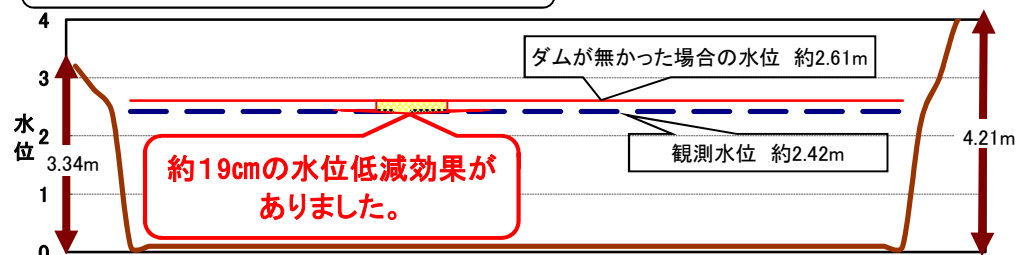
◇防災操作について

◆平成26年8月22日から降り出した雨は、前線の活発化に伴い、鳴淵ダム周辺では、8月22日0時から22日15時までに、累計雨量で122ミリに達しました。22日3時からの1時間で59ミリの雨量を観測しました。

◆鳴淵ダムでは、この出水により洪水吐による自然越流により、毎秒約36立方メートルのダムへの最大流入量に対し、毎秒約31立方メートルをダムでカットすることで、ダムからの放流量を毎秒約5立方メートルに低減させました。

◆この洪水調節により、鳴淵ダムから下流の雨水橋水位局地点では約19センチの水位を低下させたものと推測されます。

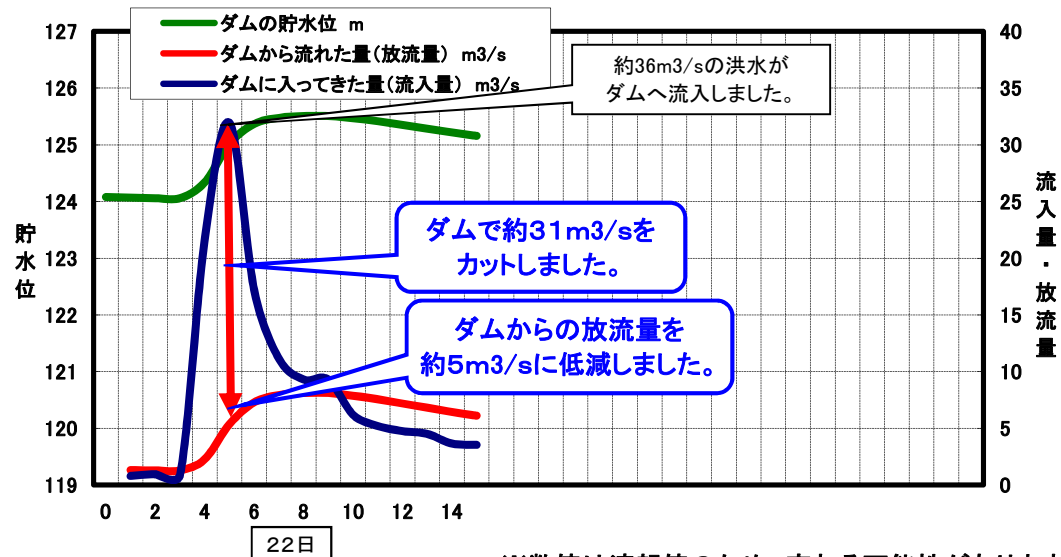
◇雨水橋水位局地点の水位比較



◇鳴淵ダムの諸量及び降雨量



◇ダム位置図



※数値は速報値のため、変わる可能性があります。